

- 2003-2005 医歯薬出版, 東京, 412-414, 2003.
109. 吉村邦彦: 副腎皮質ステロイド薬. 工藤翔二, 中田紘一郎, 貫和敏博編 呼吸器疾患最新の治療 2004-2006. 南江堂, 東京: 81-85, 2004.
 110. 草野英美子, 本間 栄, 大津喜子, 坂本 晋, 川畑雅照, 岸 一馬, 坪井永保, 河野 匡, 吉村邦彦: タルク末注入と胸腔鏡下肺瘻閉鎖術が奏効した特発性肺線維症合併難治性気胸の1例. 日呼会誌 43: 117-122, 2005.
 111. 坂本 晋, 本間 栄, 川畑雅照, 河野 匡, 元井紀子, 吉村邦彦: ステロイド抵抗性でシクロスポリン A の併用が著効し完治した皮膚筋炎に伴う細胞浸潤型非特異性間質性肺炎の1例. 日呼会誌 43: 171-178, 2005.
 112. 宮本 篤, 安斎千恵子, 高谷久史, 杉野圭史, 坂本 晋, 泉川公一, 川畑雅照, 岸 一馬, 坪井永保, 本間 栄, 吉村邦彦: CFTR 遺伝子変異のホモ接合体を呈する Cystic Fibrosis の2症例. Ther Res 26: 1453-1456, 2005.
 113. 吉村邦彦: 日本人における Cystic Fibrosis の実態とその CFTR 遺伝子変異. Ther Res 26: 1467-1475, 2005.
 114. 吉村邦彦: のう胞性線維症. 日内会誌 92: 1198-1205, 2003.
 115. 本間 栄: 特発性間質性肺炎の周辺疾患: 膠原病肺との比較検討. 日胸 62(増): S203-209, 2003.
 116. 吉村邦彦: のう胞性線維症の遺伝子異常. 呼吸器科 6: 469-476, 2004.
 117. 吉村邦彦: CFTR について最新の知見 — アミノグルコシド投与の影響 —. 呼吸 23: 865-871, 2004.
 118. 長谷川好規: イレッサ その光と影. 日本薬理学雑誌 125: 233, 2005.
 119. 長谷川好規: 臓器移植における末梢気道病変. 呼吸器科 7: 238-242, 2005.
 120. 長谷川好規: 特集: この疾患はどう変わってきたか (内科領域) 呼吸器分野. 現代医学 52: 379-382, 2005.
 121. 長谷川好規: 移植片対宿主病の肺病変. 日本醫事新報 4249: 92-93, 2005.
 122. 居来提托乎提, 中山智子, 石崎正通, 福田 悠: びまん性肺胞傷害における線維化と筋線維芽細胞. 日本医科大学医学会雑誌 2: 18-24, 2006.
 123. 中山智子, 福田 悠: I. 診断と病態, 4. 病理. 特集: 特発性肺線維症: 診断と治療の進歩. 日本内科学会雑誌 94: 1045-1051, 2005.
 124. 坂東政司, 杉山幸比古: 急性呼吸促進症候群, 急性肺損傷. 改訂第4版 疾患別最新処方 (矢崎義雄, 菅野健太郎 監修) MEDICAL VIEW, 東京: 230-231, 2005.
 125. 大野彰二, 杉山幸比古: 薬剤誘起性呼吸器疾患の臨床. 薬剤による呼吸器障害 (吉澤靖之 編集) 克誠堂出版, 東京: 9-15, 2005.
 126. 大野彰二: ARDS (急性呼吸窮迫症候群). 各科に役立つ救急処置・処方マニュアル (北村 諭, 石井裕正, 沖永功太, 鈴川正之 編), 医歯薬出版株式会社, 東京: 244-247, 2005.
 127. 杉山幸比古: 特発性間質性肺炎. 特発性肺線維症 (IPF) と非特異性間質性肺炎 (NSIP). レジデントノート 7: 213-217, 2005.
 128. 杉山幸比古: びまん性汎細気管支炎の診断基準・重症度. 内科 95 増大号: 1025-1028, 2005.
 129. 杉山幸比古, 坂東政司: その他の肺線維症 家族性肺線維症. 日内会誌 94: 1094-1098, 2005.
 130. 杉山幸比古: びまん性汎細気管支炎. 臨床と研究 82: 109-112, 2005.
 131. 杉山幸比古: 特発性間質性肺炎. Selected Articles 2006: 1401-1409, 2005.
 132. 杉山幸比古: 肺線維症. 総合臨床 54: 2505-2506, 2005.
 133. 杉山幸比古: 特発性間質性肺炎 — 診断と治療の手引き. 成人病と生活習慣病 35: 1323-1325, 2005.
 134. 野田雅史, 田畑俊治, 星川 康, 岡田克典, 鈴木 聡, 松村輔二, 半田政志, 近藤 丘: 自然気胸手術の術中所見と病理所見の比較. 日鏡外会誌 10: 189-195, 2005.
 135. 岡田克典, 近藤 丘: 高齢者における胸腔鏡手術. 胸部外科 58: 751-755, 2005.
 136. 岡田克典, 近藤 丘: 脳死肺移植と感染症. 臨床呼吸生理 37: 129-133, 2005.
 137. 岡田克典, 近藤 丘: 肺移植の内外における現況. 最新医学 60: 84-88, 2005.
 138. 岡田克典, 近藤 丘: 肺および心肺移植研究会: 本邦肺移植症例登録報告. 移植 40: 452-455, 2005.
 139. 田畑俊治, 菅原崇史, 松村輔二, 岡田克典, 佐渡 哲, 星川 康, 鈴木 聡, 近藤 丘: ラット肺移植後虚血再灌流傷害に対する塩酸オルプリンの効果. 移植 40: 273-278, 2005.
 140. 松田安史, 星川 康, 飴嶋慎吾, 鈴木 聡, 岡田克典, 田畑俊治, 菅原崇史, 松村輔二, 近藤 丘: Peroxisomr proliferator-activated receptor (PPAR) γ ligands のラットモノクローリン肺高血圧抑制効果. 日本呼吸器学会雑誌 43: 283-288, 2005.
 141. 松村輔二, 近藤 丘: 肺移植と人工肺. 移植 40: 117-121, 2005.

142. 岡島 弘, 北村喜文, 上甲 剛, 岸野文郎: 医療用を想定した多人数共有型立体表示装置の試作. 電子情報通信学会技術研究報告 (MVE2004-77) 104(749): 1-6, 2005.
143. 上甲 剛: 特集 放射線診療の過去・現在・未来「最先端技術の臨床応用」2. 胸部領域. 日獨医報 50(1): 155-160, 2005.
144. 上甲 剛: 特集『特発性肺線維症: 診断と治療の進歩』1. 診断と病体 5. 画像診断. 日本内科学会雑誌 94(6): 28-30, 2005.
145. 藤本公則, 上甲 剛, 内山大治, 佐土原順子, 寺崎 洋, 河野れい, 早瀬尚文: 『慢性腎不全と長期血液透析患者にみられる胸部合併症 病態生理と画像診断』. 臨床画像 21(11): 1150(14)-1165(29), 2005.
146. 小縣裕二, 上甲 剛: 特集 呼吸器疾患検査法: 何がわかる, どこまでわかる 「MRI, CT 検査-胸部の疾患でこれらの検査からわかること」. Respiratory Medicine 呼吸器科 8(6): 478-485, 2005.
147. 吉川充浩, 荷見映理子, 志関真理子, 笠井昭吾, 柳 富子, 徳田 均, 北村成大, 江石義信: 抗ウイルス療法 (HAART) 後にサルコイドーシスを発症した HIV 感染者の一例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 25: 67-73, 2005.
148. 江石義信: 内因性感染症 サルコイドーシスを中心に. 呼吸 24: 178-179, 2005.
149. 榎本紀之, 須田隆文, 乾 直輝, 橋本 大, 内藤立暁, 藤澤朋幸, 三輪清一, 中野秀樹, 鈴木研一郎, 横村光司, 井手協太郎, 千田金吾: サルコイドーシスの肉芽腫形成機序における CD1 分子の検討. 日本呼吸器学会雑誌 43(1): 10-15, 2005.
150. 豊嶋幹生, 千田金吾: 特集「呼吸器疾患管理におけるモニタリング」. 間質性肺炎呼吸 24(2): 145-148, 2005.
151. 小澤雄一, 井田雅章, 須田隆文, 藤井雅人, 加藤真人, 長谷川浩嗣, 榎本紀之, 野木村宏, 千田金吾: 乳癌患者への放射線照射後に発症した BOOP における臨床的検討. 日本呼吸器学会雑誌 43(2): 71-76, 2005.
152. 千田金吾, 土屋智義: 気管支鏡検査. 看護のための最新医学講座 (第 2 巻) 呼吸器疾患: 159-172, 2005.
153. 豊嶋幹生, 千田金吾: 好酸球性肺炎. 疾患別最新処方 第 4 版 矢崎義雄, 菅野健太郎 (編). メジカルビュー社: 218-219, 2005.
154. 千田金吾: 胸部単純 X 線写真の所見からみた胸痛の鑑別. 胸部診療のコツと落とし穴. 野々木宏 (編). 中山書店: 146-147, 2005.
155. 千田金吾: 薬剤誘起性好酸球性肺炎. 薬剤による呼吸器障害 吉澤靖之 (編). 克誠堂出版: 83-89, 2005.
156. 横村光司, 千田金吾: 特発性間質性肺炎の診断における TBLB と胸腔鏡下肺生検. 気管支支 27(1): 26-31, 2005.
157. 中野 豊, 土屋智義, 乾 直輝, 森田 悟, 右藤智啓, 山崎佐和, 柄山正人, 千田金吾, 須田隆文: サルメテロールは喘息発作回復期の短時間作動型 β_2 刺激薬の気管支拡張効果を阻害しない. Progress in Medicine 25(2): 542-544, 2005.
158. 藤澤朋幸, 須田隆文, 千田金吾: ニューモシスチス肺炎 (PCP) の診断における定量的な real time PCR と定性的 PCR の有用性の比較. ACCESS 20(3): 27-28, 2005.
159. 須田隆文, 千田金吾: 住宅関連過敏性肺炎 (夏型以外). 日本胸部臨床 64(7): 625-633, 2005.
160. 豊嶋幹生, 千田金吾, 松山 泰, 佐藤 潤, 須田隆文, 早川啓史: アスピリン喘息における副鼻腔気管支外病変. アレルギーの臨床 25(337): 897-901, 2005.
161. 菅沼秀基, 八木 健, 中島幹男, 岩嶋大介, 匂坂伸也, 千田金吾: 特発性肺線維症の急性増悪をめぐって 急性増悪の臨床と治療に関して. 日本胸部臨床 64(12): 1076-1083, 2005.
162. 千田金吾: 特発性肺線維症 副腎皮質ステロイド. 呼吸器疾患治療のエビデンス 文光堂: 56-57, 2005.
163. 白井敏博, 小宮山明, 橋本 大, 千田金吾: 好酸球性胃腸炎. アレルギーの臨床 25(14): 1116-1119, 2005.
164. 南 貴博, 吉見通洋, 前山隆茂, 桑野和善, 中西洋一: 急性膿胸を契機として発症した ARDS に対し NIPPV 下において好中球エラスターゼ阻害薬が著効した一例. 医学と薬学 54: 75-77, 2005.
165. 吉見通洋, 清原英之, 古山和人, 升谷耕介, 萩本直樹, 平方秀樹, 桑野和善, 中西洋一: 特発性肺線維症様の陰影を呈した顕微鏡的多発血管炎の一例. 日本胸部臨床 64: 463-468, 2005.
166. 桑野和善: 急性肺損傷とアポトーシス. 呼吸 24: 24-29, 2005.
167. 桑野和善: 肺線維症とアポトーシス. 日本内科学会雑誌 94: 146-150, 2005.
168. 桑野和善: 急性肺損傷とアポトーシス. Annual Review 呼吸器 2006. 中外医学社: 91-98, 2006.
169. 田口善夫: 期待される薬剤と現況 5, シクロスポリン A. 最新医学 60: 2583-2587, 2005.
170. 田口善夫: 急性間質性肺炎(AIP)の臨床. 日本胸部臨床 65: 1084-1092, 2005.
171. 田口善夫: 喫煙に関係する間質性肺炎. COPD FRONTIER 4: 103-109, 2005.

172. 田口善夫, 野間恵之, 小橋陽一郎: VATS. 呼吸器科 8: 526-532, 2005.
173. 江石義信 (招待講演): サルコイドーシスの病因論. 第 27 回心筋生検研究会抄録集 22: 2005.
174. 江石義信 (招待講演): サルコイドーシスの病原因子としての *P. acnes* の関与. 日本嫌気性菌感染症研究会誌 35: 65-76, 2005.
175. 江石義信: 内因性感染症としてのサルコイドーシス: 細胞壁欠失型 *P. acnes* の細胞内感染とその内因性活性化現象について. 第 2 回日本病理学会カンファレンス (免疫難病への新たな挑戦) 抄録集: 34, 2005.
176. 江石義信, 内田佳介, 田島あすか, 石田紀子, 池田 聡, 鈴木好美, 石下郁夫, 石下由紀, 小池清恵, 関根正喜, 安藤 登, 小池盛雄: サルコイドーシス病変部における抗酸性で細胞壁欠失型の *P. acnes* 菌体の同定とその内因性活性化現象に関する研究. 第 25 回 RMCB 研究会抄録集: 24, 2005.
177. 江石義信: サルコイドーシスの発症に関わる病因の解明, 厚生労働科学研究, 難治性疾患克服研究事業, 特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究. 平成 16 年度総括・分担研究報告: 27-35, 2005.
178. 江石義信, 武村民子: サルコイドーシス病変部における抗酸性で細胞壁欠失型の *P. acnes* 菌体の同定とその内因性活性化現象に関する研究. 厚生労働科学研究, 難治性疾患克服研究事業, びまん性肺疾患調査研究班, 平成 16 年度研究報告: 189-197, 2005.
179. 江石義信, 石下郁夫, 石下由紀, 田島あすか, 内田佳介, 宮下朋美, 関根正喜, 安藤 登, 鈴木好美, 明石 巧, 小池盛雄: サルコイドーシス病変部における CWD 型 *P. acnes* 菌体の同定とその内因性活性化現象に関する研究. 日本病理学会誌 94: 219, 2005.
180. 熊谷二郎, 小林大輔, 猪狩 亨, 伊東干城, 江石義信, 滝澤登一郎, 小池盛雄: 大腸癌浸潤先進部における簇出の程度と臨床病理学的因子との関連. 日本大腸肛門病学会雑誌 58: 358, 2005.
181. 熊谷二郎, 玉橋うらら, 猪狩 亨, 伊東干城, 江石義信, 滝澤登一郎, 小池盛雄: 大腸癌先進部における「簇出」と臨床病理学的因子との関連. 日本病理学会会誌 94: 269, 2005.
182. 朝比奈美芽, 久保田俊也, 中村裕昭, 井上芳徳, 栗原伸久, チン・イモン, 黄 怡, 梅田 誠, 江石義信, 滝澤登一郎, 石川 烈, 石原和幸, 奥田莞爾, 岩井武尚: バージャー病の治療はどうあるべきか 運動, 薬物療法血行再建バージャー病変の微細構造と患者の口腔衛生環境の関連について. 日本血管外科学会雑誌 14: 336, 2005.
183. 井上義一: 特発性肺線維症: 診断と治療の進歩. 診断と病態. 分類と診断. 日本内科学会雑誌 94: 1032-1038, 2005.
184. 大塚淳司, 濱口直彦, 新井 徹, 井上義一: 家族性肺線維症の臨床. 日本胸部臨床 64: 388-398, 2005.
185. 安藤性實, 新井 徹, 井上義一, 林 清二, 河原正明, 北市正則, 小塚健倫, 審良正則, 坂谷光則: FDG-PET により癌病巣の局在を同定しえた特発性肺線維症に合併した肺腺癌の 1 例. 日本呼吸器学会雑誌 43: 476-480, 2005.
186. 立花暉夫, 井上義一: 第 8 回 WASOG Meeting 報告記. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会 25: 91-92, 2005.
187. 大塚淳司, 井上義一: NSIP の予後と治療. 最新医学 60: 89-94, 2005.
188. 稲瀬直彦, 大場岳彦, 海野 剛, 関口繁男, 吉澤靖之: 羽毛布団による鳥飼病-羽毛ふとん肺. アレルギーの臨床 25: 52-55, 2005.
189. 平岡紀恵, 大玉信一, 鶴浦康司, 高野省吾, 谷合 哲, 白井俊純, 木村雄二, 吉澤靖之: 免疫染色にて bleb に子宮内膜症を認めた女性気胸 5 例. 日本呼吸器学会雑誌 43: 53-58, 2005.
190. 伊佐治美穂, 大谷義夫, 見高恵子, 越智淳一, 山下カンナ, 武村民子, 吉澤靖之: HRCT で centrilobular branching opacities を主所見とした夏型過敏性肺炎の 1 例. 日胸 64: 1123-1131, 2005.
191. 吾妻安良太: コメディカルのための疾患知識 (看護教育シリーズ). びまん性肺疾患 2. ビデオ (VHS). MEDICAL VISION 14.
192. 瀬尾宜嗣, 吾妻安良太, 工藤翔二: 特発性肺線維症. モダン・フィジシャン (企画編集: 滝沢 始)26: 361-366, 2006.
193. 吾妻安良太: 薬剤性肺障害の遺伝性素因と人種差. 日本医師会雑誌 134: 2111-2115, 2006.
194. 吾妻安良太: Q & A 特発性間質性肺炎診断・治療ガイドラインの意味するもの. The Lung perspective 13: 327-329, 2006.
195. 藤田和恵, 吾妻安良太, 工藤翔二: 間質性肺炎のガイドライン-特発性間質性肺炎 (IIPs) 第 4 次改訂診断基準による診断と治療-. 呼吸器科 9(3): 256-265, 2006.
196. 藤田和恵, 吾妻安良太: ピルフェニドン. 医学のあゆみ, 2006.
197. 松本亜紀, 吾妻安良太: 特集インターフェロン治療学, 特発性肺線維症. 日本臨床 64(7): 1354-1360, 2006.
198. 吾妻安良太, 神尾孝一郎, 土方美奈子, 慶長直人: びまん性汎再気管支炎の疾患感受性遺伝子. 呼吸と循環 54(8): 801-

- 805, 2006.
199. 吾妻安良太: 薬剤性肺障害の現状と問題点. 呼吸と循環 54(10): 1071-1076, 2006.
200. 吾妻安良太, 工藤翔二: 薬剤起因性間質性肺炎 4. 薬剤起因性間質性肺炎に人種差はあるのか. 治療学 40(11): 1226-1230, 2006.
201. 妹川史朗, 佐野武尚, 戸館亮人, 内山 啓, 安田和雅, 永山雅晴, 榎本紀之, 須田隆文, 千田金吾: シベレスタット及びステロイド剤の使用で改善した間質性肺炎による急性呼吸不全の 2 例. 日本呼吸器学会雑誌 44(1): 27-33, 2006.
202. 千田金吾: 間質性肺炎とは. 呼吸器&循環器ケア 6(1): 20-24, 2006.
203. 千田金吾: 特発性間質性肺炎のプロフィール. 呼吸器&循環器ケア 6(1): 25-30, 2006.
204. 千田金吾: 特発性間質性肺炎の臨床所見, 検査法と解釈. 呼吸器&循環器ケア 6(1): 31-35, 2006.
205. 千田金吾: 間質性肺炎の治療と看護. 呼吸器&循環器ケア 6(1): 36-41, 2006.
206. 千田金吾: 呼吸器系疾患の病態生理と治療薬. 器管別病態生理と治療薬: 579-630, 2006.
207. 豊嶋幹生, 橋本 大, 千田金吾: 好酸球性肺炎における好酸球性炎症の病態と制御. 呼吸と循環 54(3): 241-246, 2006.
208. 黒石重城, 千田金吾: 好中球エラスターゼ阻害剤 (エラスポール) の治療効果. 呼吸器科 9(4): 382-386, 2006.
209. 千田金吾: 呼吸器感染症に対する経口抗菌薬の比較検討. 感染症と化学療法 ラジオ NIKKEI アボット感染症アワードダイジェスト版, 2006.
210. 杉山幸比古, 千田金吾, 小倉高志, 山口 哲, 宮崎邦夫: びまん性肺疾患をどう診るか. 日本内科学会雑誌 95(6): 1076-1093, 2006.
211. 須田隆文, 千田金吾: 呼吸不全. 内科 98(1): 65-68, 2006.
212. 千田金吾, 黄川田啓子, 岸本 肇, 山崎 晃, 妹川史朗, 小清水直樹, 渡辺春充, 松井 隆, 小川博示, 貝田勇介, 黒石重城, 白井正浩, 仲田千穂, 菅沼秀基, 戸館亮人, 永山雅晴: 急性気道感染症に対する経口抗菌薬投与の意義について—マクロライド系薬とセフェム系薬の比較—. 日本医事新報(4289): 62-67, 2006.
213. 小澤雄一, 榎本紀之, 須田隆文, 千田金吾: 肺癌に合併した間質性肺炎についての臨床的検討. 第 73 回間質性肺疾患研究会討議録: 68-74, 2006.
214. 千田金吾: CT 時代の胸部単純 X 線写真撮影と読影の注意点. Journal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technologists 16(1): 40-42, 2006.
215. 千田金吾: 特発性間質性肺炎. 図解呼吸器内科学テキスト. 長瀬隆英, 永田泰白 (編) 中外医学社: 205-209, 2006.
216. 佐藤篤彦, 須田隆文: 肺・胸膜. サルコイドーシスとその他の肉芽腫性疾患: 64-70, 2006.
217. 乾 直輝, 千田金吾: シェーグレン症候群との合併. サルコイドーシスとその他の肉芽腫性疾患: 246-7, 2006.
218. 柄山正人, 乾 直輝, 安井秀樹, 山崎佐和, 村松江里子, 右藤智啓, 森田 悟, 朝田和博, 土屋智義, 中野 豊, 須田隆文, 千田金吾: 肺野末梢側に限局する陰影を呈したオウム病の一例. 日本呼吸器学会雑誌 44(9): 670-673, 2006.
219. 千田金吾, 貝田勇介, 榎本紀之, 宮本康敬, 松本久邦, 須田隆文: ステロイド投与例におけるシクロスポリン血中濃度の検討. 厚生労働科学研究 特発性間質性肺炎の画期的治療法に関する臨床研究 平成 17 年度研究報告書: 72-76, 2006.
220. 千田金吾: 特発性肺線維症 (IPF) に対して標準治療を行う場合の問題点. 別冊医学のあゆみ 218(9): 755-759, 2006.
221. 成瀬代士久, 乾 直輝, 安井秀樹, 柄山正人, 山崎佐和, 村松江里子, 右藤智啓, 森田 悟, 土屋智義, 中野 豊, 榎本紀之, 妹川史朗, 須田隆文, 千田金吾: 急速に呼吸不全が進行した原発性シェーグレン症候群に伴った間質性肺炎の 1 例. 日本呼吸器学会雑誌 44(10): 721-726, 2006.
222. 成瀬代士久, 乾 直輝, 安井秀樹, 柄山正人, 山崎佐和, 村松江里子, 右藤智啓, 森田 悟, 土屋智義, 中野 豊, 榎本紀之, 妹川史朗, 須田隆文, 千田金吾: 急速に呼吸不全が進行した原発性シェーグレン症候群に伴った間質性肺炎の 1 例. 日本呼吸器学会雑誌 44(10): 721-726, 2006.
223. 慶長直人: びまん性肺疾患の話題. 内科 99(2): 190-192, 2007.
224. 慶長直人: 慢性気道感染症の病態に関わる遺伝子の研究. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 26(1): 13-16, 2006.
225. 吾妻安良太, 神尾孝一郎, 土方美奈子, 慶長直人: びまん性汎細気管支炎の疾患感受性遺伝子. 呼吸と循環 54(8): 801-805, 2006.
226. 松下育美, 慶長直人: びまん性汎細気管支炎における MUC5B 遺伝子の役割. 医学のあゆみ 217(8): 853-854, 2006.
227. 松下育美, 糸山 智, 濱野栄美, 土方美奈子, 慶長直人: 呼吸器疾患と遺伝子多型—感染防御と遺伝子多型. 呼吸と循環 54(8): 821-826, 2006.

228. 松下育美, 神尾孝一郎, 慶長直人: DPB における mucin 遺伝子の解析. THE LUNG perspectives 15(1): 38-4, 2007.
229. 松下育美, 神尾孝一郎, 慶長直人: びまん性汎細気管支炎とムチン遺伝子. 内科 99(2): 302-305, 2007.
230. 土方美奈子, 慶長直人: DPB (diffuse panbronchiolitis) と疾患感受性遺伝子. 日本内科学会雑誌 95(6): 1063-1068, 2006.
231. 谷 憲治, 曾根三郎: 呼吸器疾患 I. 基礎的知識 症状と病態生理. 臨床病態学 1, ヌーヴェルヒロカワ: 239-240, 2006.
232. 西岡安彦, 東 桃代, 青野純典, 稲山真美, 上原久典, 泉 啓介, 曾根三郎: プレオマイシン誘発肺線維症モデルにおける imatinib の抗線維化効果とエリスロマイシン併用の意義: α 1-acid glycoprotein の役割. The Japanese Journal of Antibiotics 59: 65-68, 2006.
233. 谷 憲治, 古川千幸, 曾根三郎: 放射線肺臓炎における線維芽細胞増殖因子の関与と今後の展望. 分子呼吸器病 10・5: 357-362, 2006.
234. 西岡安彦, 曾根三郎: 間質性肺炎に対する分子標的治療の開発. 治療学 40・11: 1190, 2006.
235. 北市正則, 玉舎 学, 中間貴弘, 井上義一: 非特異性間質性肺炎 (NSIP) の病理: 間質性肺炎の定量的病型診断方法の紹介を含めて. 病理と臨床 24: 828-834, 2006.
236. 井上義一: ベリリウム肺. 呼吸器科 9: 558-563, 2006.
237. 井上義一: ベリリウム肺 ToBe²⁺ or not to Be²⁺. サルコイドーシスとその他の肉芽腫性疾患. 安藤正幸, 四元秀毅 監修, 克誠堂出版, 214-215, 2006.
238. 井上義一, 審良正則, 坂谷光則: アスベスト肺の臨床診断. 最新医学 62: 44-51, 2007.
239. 井上義一: 特発性間質性肺炎診断の標準化と問題点. 治療学 40, 11: 82-83, 2006.
240. 石井芳樹: N-アセチルシステインによる肺線維化の抑制. 医学のあゆみ 218: 769-772, 2006.
241. 高橋弘毅, 白鳥正典, 猪股慎一郎: びまん性肺疾患の分類と診断. びまん性肺疾患の疾患活動性マーカー99(2): 218-222, 2007.
242. 千葉弘文, 大塚満雄, 工藤和実, 村上聖司, 白鳥正典, 黒木由夫, 高橋弘毅: 血清中に SP-D に対する自己抗体を認めた Dermatomyositis の一例. 分子呼吸器病 11(1): 83-87, 2007.
243. 高橋弘毅, 白鳥正典: 診断の進歩. びまん性肺疾患と血清マーカー. 日本内科学会雑誌 95(6): 986-992, 2006.
244. 千葉弘文, 高橋弘毅: 間質性肺炎/サルコイドーシスと遺伝子多型. 呼吸と循環 54(8): 839-844, 2006.
245. 大塚満雄, 白鳥正典, 千葉弘文, 高橋弘毅: 肺病変の修復・再生へのアプローチ アンジオテンシン受容体拮抗薬による肺線維化抑制効果と SP-A の発現に関する検討. 分子呼吸器病 1(3): 183-186, 2006.
246. 高橋弘毅, 白鳥正典, 千葉弘文: 間質性肺炎の血清マーカー KL-6 の最新知見. SP-A, SP-D のとの乖離を中心に病態からとらえた血清マーカー乖離の解釈. 分子呼吸器病 10(2): 111-116, 2006.
247. 杉野圭史, 木村一博, 佐野 剛, 加藤信秀, 高木啓吾, 土屋香代子, 蛇澤 晶, 中田紘一郎: Stevens-Johnson 症候群に合併した閉塞性細気管支炎の 1 剖検例. 日呼吸会誌 44: 511-516, 2006.
248. 畑中一仁, 本間 栄, 植草利公: びまん性汎細気管支炎, 線毛不動症候群の病理と病態. 病理と臨床 24: 949-956, 2006.
249. 長谷川好規: 細気管支炎. Modern Physician 26: 410-413, 2006.
250. 居来提托乎提, 中山智子, 石崎正通, 福田 悠: びまん性肺胞傷害における線維化と筋線維芽細胞. 日医大誌 2(1): 18-24, 2006.
251. 社団法人日本呼吸器学会薬剤性肺障害ガイドライン作成委員会編集: 薬剤性肺障害の評価, 治療についてのガイドライン. 日本呼吸器学会誌 44(3): 221-300, 2006.
252. 小橋陽一郎, 福田 悠: 特集, 肺の疾患-非腫瘍性病変をどうみるか-I. 間質性肺炎. 病理と臨床 24: 791, 2006.
253. 福田 悠: 通常型間質性肺炎の病理. 特集, 肺の疾患-非腫瘍性病変をどうみるか-I. 間質性肺炎. 病理と臨床 (総説) 24: 814-820, 2006.
254. 福田 悠, 小橋陽一郎: 特集, 肺の疾患-非腫瘍性病変をどうみるか-II. 間質性肺炎以外のびまん性肺疾患. 病理と臨床 24: 903, 2006.
255. 福田 悠: 肺気腫, COPD の病理と病態. 特集, 肺の疾患-非腫瘍性病変をどうみるか-I. 間質性肺炎以外のびまん性肺疾患. 病理と臨床 (総説) 24: 957-962, 2006.
256. 中山智子, 福田 悠: 病理からみた薬剤性肺障害. 特集: 日本における薬剤性肺障害. 日本胸部臨床 65: 979-989, 2006.
257. 中山智子, 福田 悠: びまん性肺疾患の分類と診断びまん性肺疾患の病理診断の問題点. 特集: びまん性肺疾患: 病態に基づいた最新治療. 内科 99: 208-217, 2007.

258. 横山彰仁, 河野修興, 工藤翔二, 中田紘一郎, 貫和敏博: 薬剤誘起性肺炎. 呼吸器疾患最新の治療. 南江堂, 東京: 349-351, 2007-2009.
259. 檜山桂子, 春田吉則, 河野修興: 労作時呼吸困難と多関節痛をきたした白皮症女性. 内科専門医会誌 18: 436-437, 559-560, 2006.
260. 石川暢久, 河野修興: 薬剤性肺障害について. 広島市内科医会報(60): 8-14, 2007.
261. 河野修興, 石川暢久, 藤川るみ, 山根公則: 感染症と糖尿病. 糖尿病合併症 20(1): 21-26, 2006.
262. 河野修興: 臨床における KL-6 の使い方. 日本内科学会雑誌 95: 1858-1862, 2006.
263. 村上晴泰, 河野修興: シアル化糖鎖抗原 KL-6. 最新 臨床試験の ABC 135: S163, 2006.
264. 服部 登, 河野修興: 間質性肺炎・肺線維症: 遺伝子多型をめぐる最近の進歩をみる. 分子呼吸器病 10(1): 21-26, 2006.
265. 服部 登, 河野修興: 間質性肺炎の理解: 肺線維化の機序について. 治療学 40: 11-14, 2006.
266. 服部 登, 河野修興: 肺線維化マーカーの測定意義. 検査と技術 34: 1170-1171, 2006.
267. 峠岡康幸, 河野修興: 薬剤性肺障害 診断のフローチャート. 日本医師会雑誌 134(11): 2131-2134, 2006.
268. 峠岡康幸, 河野修興: 放射線肺臓炎における KL-6 の意義. 分子呼吸器病 10: 346-350, 2006.
269. 大成洋二郎, 横山彰仁, 河野修興: 呼吸器疾患のバイオマーカー 末梢血. 呼吸と循環 54: 607-613, 2006.
270. 大成洋二郎, 横山彰仁, 河野修興: 新しい臨床検査・未来の臨床検査 シアル化糖鎖抗原 KL-6. 検査と技術 34: 1166-1169, 2006.
271. 工藤翔二, 伊藤春海, 小橋陽一郎, 谷口博之: 特発性間質性肺疾患のガイドラインをめぐる. 呼吸 24: 209-220, 2005.
272. 工藤翔二, 谷口博之: 特発性間質性肺炎治療における医薬品の適正な使用法 呼吸器疾患治療用薬品の適正使用を目的としたガイドライン. 平成 16 年度報告書 (呼吸器疾患治療用薬品の適正使用を目的としたガイドライン作成委員会/編著), 日本呼吸器学会: 42-72, 2005.
273. 谷口博之: 特発性間質性肺炎の診断と治療. 鳥取医学雑誌 33: 3-10, 2005.
274. 谷口博之, 近藤康博, 西山 理: 呼吸器 3. 特発性間質性肺炎 (IIPs) 内科学レビュー 2005 最新主要文献と解説 (酒井紀/監). 総合医学社: 12-21, 2005.
275. 西山 理, 谷口博之, 近藤康博, 木村智樹: 家族性肺線維症の画像および臨床的特徴. 間質性肺疾患研究会討議録 71th: 101-106, 2005.
276. 野間 聖, 谷口博之, 近藤康博, 木村智樹, 西山 理: 当院における若年性 IPF 症例の検討. 間質性肺疾患研究会討議録 71th: 94-100, 2005.
277. 谷口博之, 近藤康博: 特発性肺線維症: 診断と治療の進歩 II. 治療法の現状と展望 1. ステロイドと免疫抑制薬. 日本内科学会雑誌 94(6): 44-50, 2005.
278. 近藤康博, 麻生裕紀, 谷口博之: 急性呼吸不全における肺サーファクタントと KL-6 の比較検討. 分子呼吸器病 9(5): 426-430, 2005.
279. 横山俊樹, 谷口博之, 近藤康博, 西山 理, 加藤景介, 野間聖, 岩木 舞, 麻生裕紀, 阪本考司: 特発性肺線維症の急性増悪症例に対する NPPV の有用性. 間質性肺疾患研究会討議録 72th: 87-92, 2005.
280. 加藤景介, 谷口博之, 近藤康博, 大石尚史, 鈴木隆二郎, 横井豊治, 北市正則: 皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺炎の治療と予後. 間質性肺疾患研究会討議録 72th: 43-47, 2005.
281. 片岡健介, 谷口博之, 近藤康博, 木村智樹, 加藤景介, 西山 理: ゲフィチニブによる急性肺障害症例の検討. 間質性肺疾患研究会討議録 72th: 26-30, 2005.
282. 栗山喬之, 巽浩一郎, 田辺信宏, 笠原靖紀, 福地義之助, 植木 純, 工藤翔二, 谷口博之ほか: 呼吸器疾患治療用薬品の適正使用を目的としたガイドライン 平成 16 年度報告書. 日本呼吸器学会雑誌 43(10): 627-646, 2005.
283. 工藤翔二, 谷口博之, 巽浩一郎: 特発性間質性肺炎治療における医薬品の適正な使用法ガイドライン. 日本呼吸器学会雑誌 43(11): 711-723, 2005.
284. 谷口博之: 特発性肺線維症の急性増悪一病態と治療一. 最新医学 60(12): 2588-2595, 2005.
285. 谷口博之: 特発性肺線維症の急性増悪一臨床診断基準と問題点一. 日本胸部臨床 64(12): 1067-1075, 2005.
286. 栗山喬之, 巽浩一郎, 田辺信宏, 笠原靖紀, 福地義之助, 植木 純, 工藤翔二, 谷口博之ほか: 呼吸器疾患治療用薬品の適正使用を目的としたガイドライン. 日本呼吸器学会雑誌 44(1): 61-89, 2006.
287. 近藤康博, 岩木 舞, 加藤景介, 西山 理, 木村智樹, 谷口博之: [シンポジウム III] HOT 適応基準. 日本呼吸管理学会誌 15(4): 514-519, 2006.

288. 阪本考司, 横山俊樹, 麻生裕紀, 岩木 舞, 野間 聖, 加藤景介, 西山 理, 木村智樹, 近藤康博, 谷口博之: びまん性肺疾患に対する外科的肺生検の検討. 日本呼吸器学会雑誌 44(10): 675-680, 2006.
289. 江石義信: 特集 肉芽腫性疾患をめぐる最近のトピックス, サルコイドーシスの病因をめぐる. 病理と臨床 24: 18-27, 2006.
290. 江石義信: サルコイドーシスのアクネ菌病因説と新たな治療戦略. 日本医事新報 4317: 68-71, 2007.
291. 末次彩子, 藤岡 審, 徳島恵美子, 前山隆茂, 松元幸一郎, 吉見通洋, 渡辺憲太朗, 桑野和善, 中西洋一: 禁煙後も増悪した剝離性間質性肺炎の1例. 日本胸部臨床 65: 839-845, 2006.
292. 桑野和善, 吉見通洋, 中西洋一: 肺線維症におけるアポトーシスの役割. 呼吸と循環 54: 43-48, 2006.
293. Kuwano K: Editorials. PTEN as a new agent in the fight against fibrogenesis. Am J Respir Crit Care Med 173: 5-6, 2006.
294. 桑野和善: 呼吸器系疾患の遺伝子学. 最新医学 61: 33-42, 2006.
295. 桑野和善: 肺損傷と線維化における上皮間葉転換 (Epithelial mesenchymal transition). 治療学 40: 20, 2006.
296. 桑野和善: Annual Review 呼吸器. 急性肺損傷とアポトーシス. 中外医学社: 91-98, 2006.
297. 桑野和善: 呼吸器疾患のコツと落とし穴 ③ びまん性肺疾患・肺腫瘍. 特発性肺線維症に対する薬物治療. 中山書店: 213, 2006.
298. 桑野和善: ステロイドの使い方 コツと落とし穴. 間質性肺疾患に対するステロイド治療. 中山書店: 58-59, 2006.
299. 桑野和善: ステロイドの使い方 コツと落とし穴. 特発性間質性肺炎に対するステロイド治療. 中山書店: 60-61, 2006.
300. 桑野和善: 細胞死のシグナル伝達とその評価法. 呼吸器疾患研究の展望. 医学書院, 20-27, 2006.
301. 萩原弘一: 肺胞微石症責任遺伝子の同定. 呼吸(0286-9314)25 8: 743-748, 2006.
302. 萩原弘一: 【分子呼吸器病 ARCHIVES 2005 注目のトピックスからみる今後の展開】 GeneChip を用いた全ゲノム SNP 解析から肺胞微石症責任遺伝子を同定する (解説/特集). 分子呼吸器病(1342-436X) 9(6): 494-495, 2005.
303. 萩原弘一: 最近の話題 肺胞微石症疾患責任遺伝子の同定. 日本内科学会雑誌(0021-5384) 95(6): 1036-1041, 2006.
304. 上甲 剛: びまん性肺疾患の分類と診断びまん性肺疾患の診断に果たす HRCT 画像の役割. 内科. 南江堂. 99(2): 2007.
305. 大中原研一, 町田健太朗, 松山 航, 東元一晃, 納 光弘, 有村公良: サプリメント (アマメシバ) 摂取による閉塞性細気管支炎の症例. 治療学 40: 105-108, 2006.
306. 東元一晃, 大中原研一, 松山 航, 有村公良, 納 光弘: 健康食品 (サプリメント) による薬剤性肺障害. 日本医師会雑誌 134: 2116-2117, 2006.
307. 松山 航, 山元滋樹, 町田健太朗, 大中原研一, 渡辺正樹, 東元一晃, 納 光弘, 有村公良: チオトロピウムが著効した臨床的に診断した閉塞性細気管支炎の1例. 日呼吸会誌 44(5): 404-409, 2006.
308. 海老名雅仁: 薬剤性肺障害. JOHNS 23: 500-2, 2007.
309. 海老名雅仁: ゲフィチニブ(イレッサ)による薬剤性肺炎. 成人病と生活習慣病 37: 2007.
310. 海老名雅仁: 特発性間質性肺炎の新しい治療法の開発. Medical Practice, 2007.
311. 海老名雅仁: 病理像から理解する特発性間質性肺炎の病態. 呼吸と循環 54: 1055-62, 2006.
312. 海老名雅仁: インターフェロン. 医学のあゆみ 218: 773-776, 2006.
313. 前田裕行, 河野修興 膠原病における感染症とその対策 呼吸器科 12: 278-282, 2007
314. 河野修興, 久保恵嗣, 井上義一, 小山徹, 坂口文 薬剤性肺炎をめぐる 日本内科学会雑誌 96(9): 1168-1186, 2007
315. 河野修興 呼吸器疾患のバイオマーカー 内科学第9版 645-647, 2007
316. 横山彰仁, 河野修興 薬剤誘起性肺炎 呼吸器疾患最新の治療 2007-2009 349-351, 2007
317. 石川暢久, 河野修興 薬剤性肺障害について 広島市内科医会報 (60): 8-14, 2007
318. 持丸 博, 川本雅司, 福田 悠, 工藤翔二: 急性好酸球性肺炎と慢性好酸球性肺炎の臨床病理的相違. 日呼吸会誌 45: 223-232, 2007
319. 小田島奈央, 別役智子, 南須原康行, 伊藤智雄, 福田 悠, Robert M. Senior, 西村正治: 間質性肺炎における EMM-PRIN 発現. 分子呼吸器病 11: 75-79, 2007
320. 高久多希朗, 根井貴仁, 斉藤良信, 阿部信二, 臼杵二郎, 吾妻安良太, 工藤翔二, 高橋美紀子, 中山智子, 福田 悠: CPC 日常診療から学ぶ. 肺癌合併 ANCA 関連間質性肺炎で急性増悪をきたした1剖検例. The Lung Prospective. 15: 258-264, 2007

321. 中山智子, 福田 悠: びまん性肺疾患の分類と診断. びまん性肺疾患の病理診断の問題点. 特集: びまん性肺疾患: 病態に基づいた最新治療. 内科 (総説) 99: 208-217, 2007.
322. 福田 悠: 薬剤性肺障害の病理. 特集: 薬剤性肺障害のすべて. 成人病と生活習慣病 (総説) 37: 295-300, 2007.
323. 西岡安彦, 岸 潤, 曾根三郎. 間質性肺炎に対する新治療. 呼吸 26(4): 329-337, 2007.
324. 西岡安彦, 東 桃代, 曾根三郎. 百日咳の診断と治療について. The Lung perspectives. 15(2): 108-109, 2007.
325. 青野純典, 西岡安彦, 曾根三郎. 間質性肺炎をめぐる最近の話題—増殖因子とその受容体—. The Lung perspectives. 15(4): 30-35, 2007.
326. 新井 徹, 井上義一, 安藤性實, 井上幸治, 露口一成, 鈴木克洋, 林 清二, 北市正則, 審良正則, 坂谷光則. 胸部 CT にて多発性リング状陰影(“reversed halo sign”)を呈した特発性器質化肺炎の 1 例. 日本呼吸器学会雑誌. 45: 621-626, 2007.
327. 井上義一. 肺胞蛋白症. Medicina 44: 330-331, 2007
328. 井上義一, 審良正則, 坂谷光則. アスベスト肺の臨床診断. 最新医学. 62: 44-51, 2007.
329. 井上義一, 新井 徹, 大塚淳司, 肺胞蛋白症の診断と治療. 内科. 99: 279-286, 2007.
330. 大家晃子, 井上義一. リンパ脈管筋腫症. In 工藤翔二, 中田絏一郎, 貫和敏博編. 呼吸器疾患の最新の治療 2007-2009. 南江堂, P 318-320, 2007.
331. 中田 光, 井上義一, 高田俊範, 寺田正樹, 新井 徹, 坂谷光則, 田澤立之, 貫和敏博. 肺胞蛋白症の臨床. The Lung perspective. 15: 59-63, 2007.
332. 中田 光, 井上義一, 高田俊範, 寺田正樹, 新井 徹, 坂谷光則, 田澤立之, 貫和敏博, 檜澤伸之, 山口悦郎, 江田良輔, 土橋佳子, 田中直彦, 笠原靖紀. わが国の特発性肺胞蛋白症の病勢, 予後, GM-CSF 吸入療法の Up-to-date. 分子呼吸器病, 11(1)72-74, 2007
333. 井上義一. リンパ脈管筋腫症 特集 COPD と鑑別を要する疾患・合併しうる疾患 COPD Frontier, 6: 74-79, 2007
334. 井上義一. じん肺症 今日の診断基準, P. 54-55, 南江堂, 2007
335. 井上義一. 慢性ペリウム肺, 慢性ペリウム症 今日の診断基準, P. 56-57, 南江堂, 2007
336. 井上義一. 間質性肺炎・治療 間質性肺炎の合併症とその管理の実際. Medical Practice. 24: 1071-1077, 2007.
337. 藤井ゆみ, 白井 裕, 今野和典, 新 謙一, 大谷義夫, 稲瀬直彦, 田中健彦, 吉澤靖之: マコモズミ(黒穂胞子 smut spores) による過敏性肺炎の 1 例 日呼吸会誌 2007; 45(4): 344-348
338. 貝田勇介, 須田隆文, 榎本紀之, 中村祐太郎, 乾 直輝, 佐藤 潤, 永山雅晴, 妹川史朗, 田村亮治, 早川啓史, 千田金吾: 外科的肺生検を施行した膠原病患者における細気管支病変の臨床病理学的検討. Therapeutic Research 28(8): 1636-1638, 2007.
339. 千田金吾: 【びまん性肺疾患 病態に基づいた最新治療】特発性間質性肺炎の分類と診断 特発性間質性肺炎の病型分類の変遷と現状とその問題点. 内科 99(2): 223-228, 2007.
340. 須田隆文, 千田金吾, 大西一巧: Imatinib (グリベック) による肺障害. 成人病と生活習慣病 37(3): 357-362, 2007.
341. 中村裕太郎, 千田金吾: 間質性肺炎の薬物療法の進め方 特発性間質性肺炎—ガイドラインに基づいて—. Medical Practice 24(6): 1041-1047, 2007.
342. 古澤春彦, 稲瀬直彦, 吉澤靖之, 鈴木好美, 田島あすか, 石下由紀, 内田圭介, 江石義信: IL-2 mRNA 定量によるアクネ菌および結核菌に対するサルコイドーシス患者の Th1 免疫反応性の検討, サルコイドーシス/肉芽腫性疾患 (1345-0565) 27 巻 Suppl. Page 35 (2007.10)
343. 在間未佳, 山口哲生, 山田嘉仁, 米満勤, 藁谷正明, 江石義信: 脊髄内視鏡で組織診断し, PAB 抗体染色が陽性であった神経サルコイドーシスの 2 症例, サルコイドーシス/肉芽腫性疾患 (1345-0565) 27 巻 Suppl. Page 34 (2007.10)
344. 新井愛子, 石川理恵, 守屋敦子, 森本耕三, 神宮浩之, 安藤常浩, 生島壮一郎, 武村民子, 折津愈, 江石義信: ミノサイクリン (MINO) が著効した頸部リンパ節サルコイドーシスの一例, サルコイドーシス/肉芽腫性疾患 (1345-0565) 27 巻 Suppl. Page 33 (2007.10)
345. 森本耕三, 坂本 徹, 神宮浩之, 安藤常浩, 生島壮一郎, 折津 愈: 尿崩症と視床下部—下垂体—性腺系の機能異常を呈したサルコイドーシスの 1 例. 日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会雑誌 27(1): 43-47, 2007.
346. 江石義信: 微生物と呼吸器疾患—宿主反応の多様性: サルコイドーシス—細胞壁欠失型アクネ菌の細胞内潜伏感染とその内因性活性化に伴う過敏性免疫反応, 呼吸器科 (1347-0051) 12 巻 1 号 Page 20-29 (2007.07)
347. 江石義信: 肉芽腫性肺疾患と病原微生物: サルコイドーシスとアクネ菌 (Propionibacterium acnes), 結核 (0022-9776) 82 巻 4 号 Page 339 (2007.04)

348. 菅 守隆：過敏性肺炎:呼吸器疾患の最新の治療 2007-2009 南江堂 p 328-331, 2007
349. 菅 守隆：BOOP：呼吸器疾患—state of arts—医学のあゆみ p 262-264, 2007
350. 菅 守隆：夏型過敏性肺炎から学んだこと化学療法領域 23 (4)：547-553, 2007
351. 菅 守隆：医事新報夏かぜと過敏性肺炎 4346：89, 2007
352. 菅 守隆：過敏性肺炎：呼吸器 common disease の診療「気管支喘息のすべて」文光堂 p 344-347, 2007
353. 菅 守隆：リウマチ膠原病に伴う肺病変：リウマチ膠原病—基礎とトピックス熊本膠原病研究会記念誌 山本哲郎他編集 p 31-34, 2007
354. 谷口博之 びまん性肺疾患—病態に基づいた最新治療<特発性間質性肺炎の分類と診断>特発性肺線維症の急性増悪の診断と治療 内科 99：229-235, 2007
355. 片岡健介, 谷口博之 急性呼吸不全の終末期医療 ICUとCCU 31：173-181, 2007
356. 谷口博之, 近藤康博, 木村智樹, 西山理, 加藤景介, 片岡健介, 渡辺文子, 有菌信一, 小川智也 fibroticNSIP に対するステロイドパルス療法およびシクロスポリン+少量ステロイド療法の多面的評価 特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン+ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究 P.73-79, 2007
357. 千住秀明(司会), 植木純, 谷口博之, 津田徹 [座談会] 呼吸リハビリテーションの構築と普及—院内から在宅へ—呼吸 26：430-440 2007
358. 谷口博之 間質性肺炎の呼吸管理の実際—酸素療法, 人工呼吸療法, 呼吸リハビリテーションについて— Medical Practice 24：1061-1064 2007
359. 近藤康博, 谷口博之, 長谷川隆一 ALI/ARDSの病態と治療 ALI/ARDSにおけるNPPV 呼吸と循環 55：635-640 2007
360. 長谷川隆一, 近藤康博, 谷口博之 呼吸器診療におけるリスクマネージメント 人工呼吸器(3)非侵襲的人工呼吸法におけるリスクマネージメント(挿管人工呼吸との使い分け) 呼吸 26：664-670 2007
361. 加藤景介, 谷口博之 薬剤性肺障害の臨床 抗リウマチ薬による肺障害 呼吸器科 12：134-138 2007
362. 近藤康博, 谷口博之, 長谷川隆一 人工呼吸管理をめぐって 急性呼吸不全における非侵襲的陽圧換気療法 呼吸と循環 55：1075-1081 2007
363. 谷口博之 新たな展開の線維症研究 間質性肺炎急性増悪の定義と新規治療対応 分子呼吸器病 11：314-319 2007
364. 小川智也, 渡辺文子, 有菌信一, 谷口博之, 近藤康博 代表的な疾患に対する呼吸リハビリテーション (3) 間質性肺炎 包括的呼吸リハビリテーション<2>臨床編 2007
365. 渡辺文子, 小川智也, 有菌信一, 谷口博之 10. 在宅人工呼吸療法(NPPV)と運動療法 包括的呼吸リハビリテーション<2>臨床編 2007
366. 谷口博之 第III章 特発性間質性肺炎 2 その他の原因不明の間質性肺炎 呼吸器専門医テキスト(工藤 翔二, 中田 紘一郎, 永井厚志, 大田健/編) 南江堂 P.426-432 2007
367. 谷口博之 肺線維症治療 治療学 40：1263-1268 2006
368. 杉野圭史, 本間 栄, 宮本 篤, 高谷久史, 坂本 晋, 川畑雅照, 岸 一馬, 坪井 永保, 吉村邦彦：肺結核と原発性肺癌合併症例の臨床的特徴と問題点の分析.肺癌 47：97-103, 2007
369. 磯部和順, 高木啓吾, 秦 美暢, 濱中伸介, 清水邦彦, 木村一博, 笹本修一, 加藤信秀, 本間 栄：肺癌術後の再発診断におけるFDG-PETの有用性の検討.日呼吸会誌 45：377-381, 2007
370. 杉野圭史, 長谷川千花子, 木村一博, 佐野 剛, 磯部和順, 渋谷和俊, 本間 栄：白血病に合併した侵襲性肺アスペルギルス症の臨床病理学的検討.感染症誌 81：261-267, 2007
371. 磯部和順, 村岡 成, 杉野圭史, 山崎陽子, 菊池 直, 濱中伸介, 高井雄二郎, 清水邦彦, 木村一博, 廣井直樹, 渋谷和俊, 本間 栄：ポリコナゾールによる抗利尿ホルモン分泌異常症候群を認めた肺アスペルギルス症の1例.日呼吸会誌 45：489-493, 2007
372. 磯部和順, 本間 栄：間質性肺炎の鑑別診断の進め方. Medical Practice 24：1031-1035, 2007.
373. 高橋美希, 本間 栄：関節リウマチと呼吸器. 呼吸器内科からみた関節リウマチの肺病変. 日胸 66：443-449, 2007
374. 本間 栄：NACによるIPF治療：抗酸化薬の効果と臨床試験. 分子呼吸器病 11：10-15, 2007
375. 本間 栄(分担)：造血幹細胞移植後の呼吸器合併症. 呼吸器疾患最新の治療 2007-2009 (工藤翔二, 中田 紘一郎, 貫和敏博編) p 355-357. 南江堂, 東京, 2007

376. 本間 栄(分担): 薬剤誘起性肺炎. 2007 今日の治療指針(山口 徹, 北原光夫, 福井次矢編) p 225. 医学書院, 東京, 2007
377. 杉野圭史, 本間 栄(分担): 副鼻腔気管支症候群. 別冊医学のあゆみ 呼吸器疾患—state of arts Ver. 5 (北村 諭, 工藤翔二, 石井芳樹編) p 468-470. 医歯薬出版, 東京, 2007.
378. 本間 栄, 岸 一馬(分担): 肺リンパ脈管筋腫症 (LAM). 呼吸器専門医テキスト(工藤翔二, 中田紘一郎, 永井厚志, 太田 健編) p 627-630. 南江堂, 東京, 2007.
379. 宮本 篤, 本間 栄(分担): 気管支内視鏡検査. 呼吸器専門医テキスト(工藤翔二, 中田紘一郎, 永井厚志, 太田 健編) p 102-106. 南江堂, 東京, 2007.
380. 海老名雅仁: ゲフィチニブ(イレッサ)による薬剤性肺炎. (特集/薬剤性肺障害のすべて) 成人病と生活習慣病 37(3): 313-317, 2007.
381. 海老名雅仁: 特発性間質性肺炎の治療最前線 特発性間質性肺炎に期待される新治療. (特集 びまん性肺疾患—病態に基づいた最新治療) 内科 99(2): 南江堂 241-244, 2007.
382. 海老名雅仁, 五味和紀 サルコイドーシスの病院論における今日の問題点 呼吸器科 12: 473-478, 2007
383. 海老名雅仁: 薬剤性肺障害 (耳鼻科医が知っておきたい疾患の知識). JOHNS 23(3): 500-502, 2007.
384. 海老名雅仁: 間質性肺炎・トピックス 特発性間質性肺炎の新しい治療法の開発. Medical Practice 24(6): 1038-1040, 2007.
385. 海老名雅仁: 加齢・炎症による肺疾患: 胸部外科医に必要な内科的知識 胸部外科 60(10): 919-925, 2007.
386. 海老名雅仁: 薬剤性肺障害の臨床病型: 薬剤特異的か? 呼吸器科 12(2): 164-170, 2007.
387. 海老名雅仁: 講座 稀な呼吸器疾患 狭窄性細気管支炎 呼吸 26 巻 10 号, 938-943, 2007.
388. 海老名雅仁: 特集「間質性肺炎をめぐる最近の話題」間質性肺炎における血管病変の進展と対策制御 THE LUNG perspectives 15(4): 50-54 (444-448), 2007. メディカルレビュー社
389. 星川 康, 小林忠輝, 近藤 丘: 一般外科手術前のリスク判定と周術期対策—呼吸器系併存疾患, とくに慢性閉塞性肺疾患と術後呼吸器合併症について. 外科 69: 281-288, 2007.
390. 岡田克典, 松村輔二, 星川 康, 大石 久, 野田雅史, 佐渡 哲, 石田 格, 星 史彦, 遠藤千頭, 宮本 彰, 保坂 智子, 新井川弘道, 海津慶子, 近藤 丘: 感染の問題からみたドナー肺評価—どこまで移植可能か. 胸部外科 60: 976-981, 2007.

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業
びまん性肺疾患に関する調査研究班
総合研究報告書

平成 17 年度～平成 19 年度

平成 20 年 3 月 5 日 印刷

平成 20 年 3 月 10 日 発行

発行所 厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業
びまん性肺疾患に関する調査研究班
〒 980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1
東北大学大学院医学系研究科
内科病態学講座 呼吸器病態学分野
TEL 022-717-8539
FAX 022-717-8549

編集人 海老名 雅 仁

発行人 貫 和 敏 博

印刷所 笹氣出版印刷株式会社

〒 984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8-45
TEL 022-288-5555



この印刷物の本文は適切に育まれた森から生まれた FSC 認証紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。